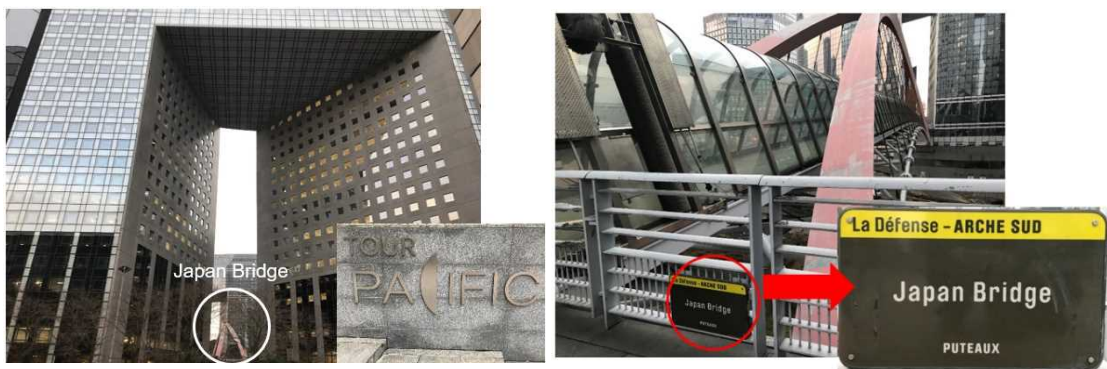


32 フランスで活躍する日本人建築家 2 (2021年2月9日)

以前にフランスで活躍する日本人建築家をご紹介しました (<https://www.fr.emb-japan.go.jp/files/100110761.pdf>)。他にもフランスには日本人建築家による建物が数多くありますので、パリにある建物をいくつかご紹介します。

ラ・デファンスのビル群にあるパシフィック・タワー (Tour Pacific) は、黒川紀章が設計しました。ビルの奥に赤いオブジェのように見えるものは、Japan Bridge と名付けられた橋です。アーチ型をした日本の伝統的な太鼓橋をイメージして作られたものだそうです。



パリ 19 区のラ・ヴィレットの近くにある旧マクドナルド物流倉庫改装プロジェクトの東端を担当したのは、隈研吾です。このプロジェクトには複数の建築家が参画し、隈研吾は学校とスポーツ施設を担当しました。



パリ 15 区にあるコニャック・ジェイ病院は、伊東豊雄が設計しました。写真では、正面の建物が映っていますが、全面ガラス張りになっているのが印象的な建物です。



パリの日本大使館員がフランスで見つけた日本

パリ 13 区のイタリア広場にある複合施設のグラン・テクラン (Le Grand écran) (注：巨大なスクリーンの意味) は、丹下健三の作品です。その名のとおり、緩やかにカーブした正面がスクリーンのようです。



パリでは、日本の建築界の巨匠の作品を見ることができます。